

第3章 豊かな学びと創造のまちづくり

企画課内線 1563

策定の視点

▼豊かな心を育て、子どもたちの学ぶ環境の充実

アンケートやヒアリングなどにおいて、「次代を担う子どもたちが心豊かに成長できるように、その環境を整えていくことが重要だ。」という意見も多く聞かれました。学区の再編の問題などを解決しながら、市民ニーズを的確に把握し、将来を担う子どもたちの教育環境の充実を図っていく必要があります。

▼市民が融和しニーズに適した生涯学習の場の提供

合併後、様々な文化・芸術などの市民活動団体の一体化が進んできています。しかし、施設の利便性が損なわれていたり老朽化の問題があるなど様々な課題を持っています。これらの課題を解決しながら、市民ニーズに即した学習機会の提供に努めていく必要があります。

重点プロジェクト

あんしん感UP プロジェクト

○学校の適正規模と適正配置の計画と整合性を図りながら、耐震性能が劣る施設を耐震化
○児童生徒数の減少に伴い、教育環境を改善するため学校の統廃合を推進

ブランド力UP プロジェクト

○市や団体が刊行した歴史書文化に関する映像などを歴史ライブラリーとして整備設置し、市民や来訪者への貸し出し提供

わがまち感UP プロジェクト

○市民が快適に利用できるよう、公民館、図書館などの生涯学習施設の適切な維持管理



△耐震化と増築工事が進む下稲吉小学校

に努め、施設、設備を整備充実

○既存スポーツ施設を連携し効果的かつ効率的な活用を図り、様々なスポーツの需要に対応

○青少年の健全な育成を図るため、地域活動における指導者の養成に努め、活動団体の連携のもと組織を強化

後期基本計画の全文は、市ホームページに掲載しています。トピック↓行政↓まちづくり計画

作文コンクール作品《教育長賞》

後期基本計画策定にあたり平成22年度に実施した作文コンクールの入賞作品を紹介します。
今回は、千代田中学校3年生(当時)の作品を紹介します。

「未来のかすみがうら市」

私は4才のころ、この土地に引越して来た。生まれたのは別の町で、日中は祖父母のいる、また別の町で生活していた。それぞれに、どの町にも良い所がたくさんあって好きだが、今は十年以上暮らしているのかすみがうら市が一番好きだ。緑が多く、癒されるというか、落ちつくという感じだ。私は、かすみがうら市のよさはそこだと思っている。

千代田地区は、栗の栽培が盛んで、その後、梨やぶどう、柿などの栽培が行われた。霞ヶ浦地区は、れんこんなど霞ヶ浦の水を利用した産業が盛んだと聞いたことがある。私の家も観光果樹園だが、東京方面から来るお客様は、かすみがうら市と言えはおいしい果物としてゆっくりできて落ちつける場所と言っ人がほとんどだが、やっぱり未来のかすみがうら市も、この良い点は継続し、住みよく、楽しい所に発展して欲しいと思う。

そして数十年前には、霞ヶ浦で泳ぐことができたということは、近くの町と協力し、まずは、霞ヶ浦がきれいになり泳げる湖になってほしいと私は思う。そしてその上に対岸の町から霞ヶ浦地区に橋をかけ、圏央道や成田空港、茨城空港などと繋がれば、多くの人がかすみがうら市を訪れて活気のある市になると思う。かすみがうら市全体がテーマパークのようになっていて、中央には、東京スカイツリーより大きな、タワーができるのだ。かすみがうら市は、霞ヶ浦の水を中心とした、大きなテーマパーク、そして千代田地区は、霞ヶ浦の産物やそれを使ったおいしい料理を食べられる店と温泉ができる。そういった宿泊できる店などを建てるのもっとよくなると思う。

とても豊かで楽しい場所になりそうだが、そのためには、今のかすみがうら市の環境を守り、そして今以上に、霞ヶ浦をきれいにしなければならぬのだ。未来のためにも、一人一人が環境を守る努力をし、暮らしていくことが大切だと思った。

第3章「豊かな学びと創造のまちづくり」の体系と主な数値目標

指標	実績値		目標値	指標の考え方
	H22年度末	H28年度		
幼稚園就園児童数(人)	372	400		実績を踏まえ、幼稚園就園児童数の目標値を設定(実績値、目標値ともに市外の幼稚園も含む)
学校図書充足率75%以上の学校の割合(%)	82.3	100		読書活動を活性化するため蔵書の充実を図り、全校達成を目指す。
学校施設の耐震化率(%)	65	76		下稲吉小、下稲吉東小の2校の耐震化工事を上乗せした目標値
指導主事の配置人数(人)	3	3		教員の資質向上や指導力強化のため、今後も3名の継続配置を推進
特色ある学校づくりの割合(%)	100	100		地域交流の維持継続及び活性化を図り、地域を含めた児童生徒の育みを広げていく。
家庭教育学級の受講者延べ人数(人)	4,392	4,500		対象者である小中学校1年生の保護者の参加人数の実績を踏まえ設定
社会教育委員会の年間開催回数(回/年)	1	2		会議の開催回数を増やすことで生涯学習体制の整備を図る。
公民館講座の年間受講者数(人/年)	1,919	2,000		各種講座の受講者数について実績を踏まえ設定
ブックスタートの年間開催回数(回/年)	12	12		4ヶ月検診の際に乳児とその保護者を対象に読書の普及活動を実施する。
図書資料の年間貸出冊数(冊)	81,161	86,000		幅広い年齢層の要望に応えられるよう、図書資料などの充実を図り、貸出冊数の増加を目指す。
DVDなど資料の年間閲覧回数(回/年)	2,181	2,700		館内の視聴覚コーナーでのDVDなどの閲覧回数を概ね年100回の増加を目指す。
人材バンク年間紹介件数(件/年)	17	25		紹介件数を増やし、登録者の増加につなげていく。
各種事業への年間参加者数(人/年)	6,501	7,000		各種事業への参加者数について、実績を踏まえて設定
生涯スポーツに取り組む市民の延べ人数(人/年)	86,607	110,000		体育協会、総合型スポーツクラブなどに加入し、市の体育施設等でスポーツを行っている市民の実績数を踏まえて設定
体育施設の年間利用者数(人/年)	97,908	130,000		市内4か所の体育施設の年間利用者数の実績を踏まえて設定
市長杯大会の年間参加団体数(団体/年)	174	200		体育協会加盟団体の市長杯大会の参加団体数の実績を踏まえて設定
市民学芸員数(人)	31	60		養成講座を継続して実施し、市民学芸員数を増やす。
郷土資料館の講座、教室などの参加者数(人/年)	1,006	1,200		歴史や文化財に関する講座を増やし、参加者増につなげる。
文化協会祭への参加団体数(団体/年)	32	45		文化協会加盟団体の文化協会祭への参加率向上(80%)を目指す。
中学生海外派遣人数(人/年)	30	30		国際感覚を養い、国際理解を深め、グローバル社会に対応する人材を育成するため、事業を継続する。
国際交流事業への参加者数の増加を目指す。過去の実績から設定	1	4		

第1節 教育の充実

- [1] 幼児教育
 - 1. 幼児教育の推進
- [2] 学校教育
 - 1. 教育環境の充実
 - 2. 教育内容の向上
 - 3. 教育相談の充実
 - 4. 特色ある学校づくり
 - 5. 地域・家庭教育との連携

第2節 生涯学習の充実

- [1] 生涯学習
 - 1. 生涯学習推進体制の確立
 - 2. 生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援
 - 3. 生涯学習施設の整備充実
 - 4. 生涯学習情報の提供
 - 5. 地区公民館活動と地域活性化運動
 - 6. スポーツ・レクリエーション活動の推進
 - 7. スポーツ・レクリエーション施設の利用促進
 - 8. スポーツレクリエーション団体の育成



△今年で8回目となった生涯学習フェスティバル

第3節 青少年の健全育成

- [1] 青少年育成
 - 1. 青少年健全育成活動の促進
 - 2. 青少年の健全育成と体制の整備

第4節 地域文化の継承と創造

- [1] 地域文化
 - 1. 文化財などの継承と保護、活用
 - 2. ふるさと教育の推進
 - 3. 芸術・文化活動の推進
 - 4. 観光との連携
- [2] 国際交流
 - 1. 国際理解と国際交流の推進